

# 法人名 (社)山梨県農業用廃プラスチック処理センター

公益法人用

## 【法人の概要】

代表者名	廣瀬 久信	所管部(局)課	農政部果樹食品流通課	
所在地	南アルプス市高田新田字川東33の1	電話番号	055-284-0938	
ホームページURL		E-mailアドレス	haipura@alpha.ocn.ne.jp	
資本金(基本財産)	31,305 千円	設立年月日	昭和51年11月1日	
主 な 出 資 者	出資順位	出資者名	出資額	出資比率
	1	山梨県	15,000 千円	47.9 %
	2	市町村(14)	11,796 千円	37.7 %
	3	全国農業協同組合連合会山梨県本部	1,630 千円	5.2 %
	4	山梨県信用農業協同組合連合会	435 千円	1.4 %
	5	全国共済農業協同組合連合会山梨県本部	435 千円	1.4 %
	6	特別基金	2,009 千円	6.4 %
	7		千円	0.0 %
	8		千円	0.0 %
	9		千円	0.0 %
	10		千円	0.0 %
その他	団体(者)	千円	0.0 %	
設 目 立 的 経 緯 概 況 等	昭和49年に農業用廃プラスチック処理の株式会社として県も出資して設立したが、昭和51年8月に会社は解散。昭和51年11月に財産を引き継いで社団法人として設立され、今日に至る。			

## 【主要事業の概要】

事業名	内容	事業費(単位:千円)			
		H21年度	H22年度	H23年度	
事業1	農業用廃プラスチックの収集・処理	同左	41,109	36,741	30,387
事業2					
事業3					

## 【組織】

年度	平成22年度					平成23年度					平成24年度								
	職 員	プロ パ ー	派遣 ・ 兼 務	県 職 員	県 O B	其 他	職 員	プロ パ ー	派遣 ・ 兼 務	県 職 員	県 O B	其 他	職 員	プロ パ ー	派遣 ・ 兼 務	県 職 員	県 O B	其 他	
4月1日現在の人員																			
役員	理事(常勤)	1			1		1			1		1			1				
	理事(非常勤)	20		5		15	20		5		15	20		5		15			
	監事(常勤)	0					0					0							
	監事(非常勤)	2				2	2				2	2				2			
	評議員	0					0					0							
	計	23	0	5	1	17	23	0	5	1	17	23	0	5	1	17			
職員	管理職	1				1	1				1	1				1			
	一般職員	1	1				1	1				1	1						
	臨時職員	2				2	1				1	1				1			
	非常勤職員	0					0					0							
	計	4	1	0	0	3	3	1	0	0	2	3	1	0	0	2			
プロパー職員の年齢構成 (H25. 4. 1現在)	年齢	~20	21~30	31~40	41~50	51~60	61歳以上	合計											
	男性					1		1	役員									(千円)	
	女性							0	常勤	※								※	
	合計	0	0	0	0	1	0	1	職員	※								(千円)	

※常勤役員、常勤職員は各1名のため個人情報保護の観点から非公表

【経営の状況】

(単位:千円)

項 目		21年度	22年度	23年度	増減(23-22)
正味財産の状況	基本財産運用益	59	33	13	△ 20
	受取会費・受取寄付金	3,572	2,418	2,670	252
	受託事業収益	0	0	0	0
	自主事業収益	39,198	34,218	28,236	△ 5,982
	受取補助金等	0	0	0	0
	その他の収益	274	256	42	△ 214
	経常収入 計	43,103	36,925	30,961	△ 5,964
	事業費	23,381	22,788	16,966	△ 5,822
	うち人件費	6,091	8,891	9,077	186
	管理費	17,727	13,953	13,421	△ 532
	うち人件費	8,551	5,480	5,439	△ 41
	経常支出 計	41,108	36,741	30,387	
	当期経常増減額	1,995	184	574	390
	経常外収入	0	0	5	5
	経常外支出	0	0	577	577
	当期経常外増減額	0	0	△ 572	△ 572
当期一般正味財産増減額	1,995	184	2	△ 182	
当期指定正味財産増減額	0	0	0		
正味財産期末残高	50,558	50,742	50,744	2	

(単位:千円)

項 目		21年度	22年度	23年度	増減(23-22)
財務状況	流動資産	5,899	5,158	5,219	61
	固定資産	49,895	50,189	49,862	△ 327
	資産 計	55,794	55,347	55,081	△ 266
	流動負債	3,943	3,019	2,453	△ 566
	うち短期借入金	0	0	0	0
	固定負債	1,293	1,586	1,884	298
	うち長期借入金	0	0	0	0
	負債 計	5,236	4,605	4,337	△ 268
	正味財産	50,558	50,742	50,744	2
	うち基本財産への充当額	16,305	16,305	16,305	
うち特定資産への充当額	12,485	14,519	14,489		

(単位:千円)

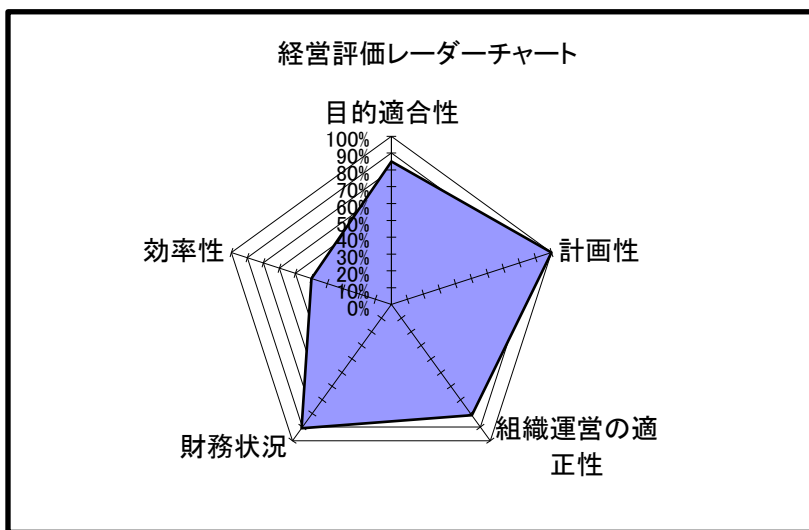
項 目		21年度	22年度	23年度	増減(23-22)
県の財政的関与の状況	負担金				0
	人件費(派遣法)補助金				0
	人件費(派遣法以外)補助金				0
	人件費以外の補助金				0
	運営費補助金	0	0	0	0
	事業費補助金				0
	補助金 計	0	0	0	0
	人件費(派遣法)委託金				0
	人件費(派遣法以外)委託金				0
	人件費以外の委託金				0
	委託金 計	0	0	0	0
	県支出金 計	0	0	0	0
	県の財政的関与の割合(%)	0.0	0.0	0.0	0
県貸付金残高				0	
県債務負担実際残高				0	

【県の財政的関与の内容・目的・金額】

項目	内容・目的・金額
負担金	
補助金 (運営費)	農業用廃プラスチック処理対策費補助金
補助金 (事業費)	
委託金	
債務負担行為	

【自己評価・評点集計】:(経営評価算出表により、法人自らが評価した結果を記入)

評価の視点	評価ポイント	評価項目数	満点	評点	得点率
目的適合性	出資法人が当初の設立目的あるいは公益目的と適合した業務を行っているかを問う視点	5	20	17	85.0%
計画性	出資法人が長期的ビジョンを持って計画的に事業運営に取り組んでいるかを問う視点	5	20	20	100.0%
組織運営の適正性	組織・人事・財務等の内部管理体制が適切に整備、運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切であるかを問う視点	4	16	13	81.3%
財務状況	出資法人の経営の安全性や収益性を問う視点	11	44	40	90.9%
効率性	出資法人の組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているかを問う視点	8	32	16	50.0%
合計		33	132	106	80.3%



【警戒指標】

--

【出資法人の自己評価】:(各評価の視点毎に、法人自らによる分析・検証の結果及び対応策を記入)

目的適合性	県内の農業生産現場から排出される農業用廃プラスチックを適正に処理するという目的に適合した業務を行っている。
計画性	定款・業務方法書により計画的に運営されている。
組織運営の適正性	現在の業務方法書において、組織運営上、最少人数で運営している。また、情報公開も行っており透明性の確保に努めている。
財務状況	分別の徹底による有価取引量を拡大するとともに最終処分量の削減に努め、大幅な経費削減に取り組んでいる。こうした中で、補助金の大幅減を実現した。(平成20、21、22、23年度 県補助金0)
効率性	平成20年度より現場作業員を2名削減、21年度より更に1名、22年度に更に1名削減している。また、収集業務を廃止するとともに、最終処分物も三種類に分別し、それぞれの価格設定により大幅な処理コスト低減を図っている。
総合的評価	有価物取引の導入、最終処分物の細分化への取り組み等、処理方策の改善により事業費総額の大幅な削減を実現しており、この結果、経常収益が黒字となった。



対応策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業用廃プラスチックの加工処理に係る施設、設備の更新を行わない。</li> <li>・取引業者の連携を強化し、分別の徹底により有価物としての取引を進め、最終処分に係る処理経費の削減への取組を更に強化する。</li> </ul>
-----	---

【法人担当部局の所見】:(法人所管部局による各評価の視点毎の分析、評価)

目的適合性	農業用廃プラスチックを適正に処理し、自然的、社会的公害の未然防止を図っていることから、目標とした成果を上げている。
計画性	「山梨県農業用廃プラスチック処理センター経営計画」及び「年度事業計画」等に基づき、経営改善に向けた具体的な改善策を講じている。
組織運営の適正性	引き続き、内部管理体制の適切な運用と、組織の透明性の確保に努めること。
財務状況	引き続き、中長期的視野にたつて、排出者である農家負担の見直しや適正な処理料金の設定を検討すること。
効率性	引き続き経営改善を進め、効率的な経営に努めること。
総合的評価	現行の運営体制は簡素化が進んでいるが、農業用廃プラスチックのより低コストで効率的な処理を一層推進するため、引き続き、経営改善を進め、効率的な経営に努めること。

【総合評価】:(経営評価委員会、経営評価アドバイザーによる総合評価)

今後更なる改善、見直しを行うべき視点	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px;">目的適合性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px;">計画性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px;">組織運営の適正性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px;">財務状況</div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px;">効率性</div> </div>
総合的所見	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">A (75%~)</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">B (60%~75%)</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">C (50%~60%)</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">D (~50%)</div> </div>
※ ランク下の%は得点率の範囲	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県下の農業用廃プラスチックを回収して処理しており、有価取引の割合を増やすことなどにより、採算を確保しており、平成23年度決算においても黒字を確保した。</li> <li>・ 今後も、処分時の分別を徹底し有価取引の割合を増やすとともに、諸経費の更なる削減を行うなどの取り組みを強化する必要がある。</li> <li>・ 法人の業務内容が大きく変化したことや公益法人制度改革への対応を踏まえ、法人の今後の方向性についての関係団体との合意形成を早急に図る必要がある。</li> </ul>



【総合所見等に対する今後の対応方針】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、分別を徹底し、有価販売に努めるとともに、経費の削減や安定的な運営経費の確保等に努めていく。</li> <li>・平成25年度は、公益社団法人に移行するとともに、今後の経営改善の方向性を示した経営計画の改定を行い、計画に沿い合理化を進めていく。</li> </ul>
---